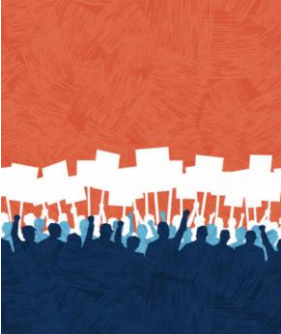


国労

蘇我運輸区分会ニュース

第4回執行委員会②

2月27日（月）12時～KAMEYA



過半数選挙を終えて思うこと

前月号でも掲載しましたが、改めて本会議で分会内での総括を行なっていました。

「ご承知の通り、当区において来年度の過半数選挙（社員代表選挙）は、6回目にして初めて労働組合側（と言うより労働者側）の勝利には至らない結果となりました。

当該組合より開票当日届いた総括文と、それに返信した鈴木の個人的

な簡単な総括を紹介し、意見を出し合いました。議論は次の通り・・・

- ① 前回からの1年間を振り返って
- ② 所信表明（掲示）のアピール度は？
- ③ 選挙活動のアピール度、及び職場内の反応は？
- ④ 相手側の動きは？
- ⑤ 自分たちはどうだったか？
- ⑥ その他、気になった点何でも・・・等々。

詳細の全てをこの紙面に掲載するのは無理ですが、今後予定される他労組との総括交流で報告したいと思います。他労組への注文も多々あるわけですが、そ

の前にやはり「自分たちはどうだったのか？職場内はどうだったのか？」であります。竜崎分会長の「我々の側も何か他人事のような感じで積極的な行動が出来なかつたのではないか。選挙前になって色々行動しても若い人たちは伝わらない。普段からの人間関係の構築が重要だと改めて思った」という言葉に集約されるかと思えます。

この言葉の中にも関連することですが、やはり

り職場内で、社員代表の役割、そしてその選挙の重要性が全くと言っていいほど共有されていないのが、一番の問題であります。ではどうするか？！・・・を皆で考えるしかありません。

36協定と要員不足

社員代表の役割のひとつである「36協定の扱い」は、遠く国鉄時代から労組側としてはグレゾーンでありました。問題なのは会社側が「協定締結ありき」で各職場においても要員を切り詰めていることです。勤務も休日出勤頼みで作っている現状で、この数ヶ月で実施されている定期行路の211行路の欠扱いなどもっての外であります。

ただ、若い人たちに



っても36協定や休日出勤に関して、様々な考え方や思いがあるはず。誰にも付度すること

とのない本音の議論が必要だと思えました。

それ以外では・・・

社員代表に関することとは、やはり学習会などで、理解を深める必要がある。今までなかったメーイルでの投票が多くなる・・・といった声がありました。

分会レクの提案

コロナ禍もまだまだ終息には至りませんが、対策をしっかりした上で、ここらで分会レクの開催も良いのでは？と提案がありました。久我さんの墓参りも含めて3月下旬から4月にかけて計画を進めます。要望などあったらお知らせ下さい。

職場内でもっと交流しましょう！